

# 第4回 千枚田より

千四  
枚谷  
田の

第 267 号



二月九日 未明から雪降り五センチ積る  
二十七日 三遠南信サミット上東  
三河に参加(豊橋芸術劇場) 三十日  
牧野利香愛知県副知事来訪 二月一  
日 JA愛知東子ども農学校開校二十  
周年記念式典 記念講演三日 ヤマ  
アカガエル産卵 五日 神星工業  
千枚田で地域貢献について市鳳来  
地域課を交え打合せ 七日 直払い  
稻作勉強会 講師 JA愛知東高木係長  
十三日 強風(春一番?) 十四日 鳳  
来寺 小学習発表会招待 二十日 千  
枚田 古宿荒廃農地の草刈り(サル  
対策) 中村直人 舜一 二十七日 直  
払い 役員選出 三月 一日 保存会理  
事会 五日 千枚田 古宿の栗の木伐  
採(サル対策) 結果: 近辺の被害もな  
く効果大 中村直人 小山秀夫 舜  
二) 八日 ワークショップ「背中蓑  
作り」 伊藤健司主導 原田八重子さ  
ん講師 八名参加(古民家カフェた  
てば) 十二日 横浜ゴム 第十五回  
生物多様性パネルディスカッション  
ン視聴 十四日 梅の開花 昨年より  
遅い 十五日 直払い総会 二十一日  
改正棚田法案 衆議院で本日午後可  
決(農水省柴崎課長補佐より) 二十  
五日 四谷の千枚田地域振興協議会  
総会 市民センターホうらい 四月  
三日 横浜ゴム新城 工場新人幹部

社員研修 十六日 ハブニングスイ  
ス人千枚田作業道にキャンピングスイ  
カー侵入仮設トイレで走行不可  
脱出まで三時間かかる十九日 保  
存会理事会 二十一日 仏法僧初鳴  
き 二十二日 千枚田荒代搔き始ま  
る 水不足で難儀 二十三日 恵みの  
雨(水不足解消) 二十五日 鳳来寺  
小五年生 稲作体験のお礼の文集届  
く 二十七日 県新城設楽農林水産  
事務所若手職員(S研プロジェクト)  
による荒代搔き 二十八日 千枚  
田入口に「集落あり:」の啓蒙看板  
市鳳来地域課により設置 同日 子  
ども農学校 渴水で代搔きの水不足  
のため合戸川からタンクで搬送(皮  
肉にも十四時以降降雨) 五月 一日  
S研プロジェクトの田植え 八日  
豊橋調理製菓専門学校の田植え 十  
一日 ヤマサちくわの田植え 十五  
日 鳳来寺小の田植え 十七日 保存  
会総会 二十一日 千枚田細尾でヤ  
マビル確認 二十六日 鈴ちゃん香  
取慎吾の仮装大賞でお馴染 每年七  
月千枚田にリアル案山子を設置頂  
くチーム TAKO(設楽町津具)が大阪  
万博にレジェンドとして出演 三十  
一日 保存会環境保全活動(お田植  
感謝の夕べを視野に) 六月 五日 豊  
橋調理製菓専門学校 田の草取り&  
梅取り 七日 お田植感謝の夕べ(大  
賑わい五百人を超す) 愛知東のご  
厚意で旧連谷小学校グラウンド間を

広報誌の表紙に写真提供十三日  
中日新聞ショッパー季刊号に写真  
提供&校正二十二日三遠南信住  
民ネット総会二十五日NETファミ  
リーヒストリー渡辺いづけい取材  
対応七月六日リアル案山子設置  
九日アフリカ農学研究者受入れ  
名大・ICA十一日中部環境五市サ  
ミット△新城参加十八日ホウラ  
イジユリ咲きだすものの千枚田は  
サルに花芽を食べられてしまつた  
同日ミネアサヒ出穂確認二十五  
日ホンダカーズ取材対応(市鳳来  
地域課と)同日ふれあい広場補修  
要望(市鳳来地域課)八月四日県  
公報「2025愛知の住みやすさ発信」  
取材対応(市鳳来地域課と)五日  
県新城設楽山村振興事務所愛知大  
学生受け入れについて八日サ  
ル軍団(三十九五十五匹)田んぼに侵  
入稻穂を食べる被害甚大九日三  
連休千枚田賑わう十日サル対策  
に爆音機設置十八日高浜市先進  
地視察対応市請井課長ほか同日  
シカ侵入対策に沢沿いの橋に防護  
金網を設置二十一日内閣府地域  
活性化伝道師実績報告九月二日  
稻刈り始まる四日未明イノシシ  
田んぼに侵入被害大十日△プロ  
ジェクト稻刈りほぼシカに食べら  
れて減収十一日横浜ゴム新城工  
場主催外来植物(アメリカセンダ  
ングサなど)駆除活動官民約三十  
名参加十四日ヤマサちくわ稻刈  
り二十二日鳳来寺小の稻刈りシ  
カサルイノシシの被害で半作以  
下十月一日内閣府地域活性化伝  
道師任命二日保存会役員会書面  
決議十月六日三遠南信サミット

専門学校の脱穀(稻架にシカ、イノシシが付き、稻を引き抜かれ大減収) 東海農政局愛知拠点三名市鳳来地域課二名県一名が指導 東郷西小三年生校外学習の受入 東郷西小三年生校外学習の受入  
二十三日 四谷の千枚田絵画コンクール審査(応募四百九十九点) 二十一日 丸八製菓コメ出荷  
二十四日 横浜ゴム新城工場社員の会場整備活動 二十五日 二十六日の両日 愛知大学学生六名の大会ボランティアも大会中止、その対応に千枚田概要説明、市立鳳来寺山自然科学院見学を実施 二十八日 市立千郷小三年生四十名 校外学習  
「見つけよう!新城のステキ」対応(裏面参照) 二十九日 市内池場地内 ツキノワグマ捕獲 + 一月一日 別府 小山舜二参加 四日 江口愛知県副知事来訪 頻繁する害獣被害の対策を要望 同日 愛知大学センター長  
二日 全国棚田(千枚田)サミット由田中幸夫 丸地典利 松下誠  
十三日 収穫感謝祭チラシ 発信 十四日 農水省全国棚田行脚スタンプラリー市鳳来地域課を窓口に了解 廿日 今季一番の冷え込み(約一週間前には夏日、秋がなく冬となる) 二十一日 愛知県ふるさと水と土指導員全体会議(岡崎市千万町楽校で開催) 原田英史 小山舜二出席 二十二日 四谷の千枚田カレンダー(丸八製菓作製)配布  
十二月四日 未明から早朝に雪降り 千枚田雪化粧 昨年より廿日早い冠雪 六日 第六期中山間直接支払い 全体会議 十四日 収穫感謝祭

令和七年度ふるさと・水と土指導員連絡会議  
令和二年二月二日、二万丁

今和七年度ふるさと・水と土指導員連絡会議  
令和七年十一月二十一日、千万町  
楽校（岡崎市千万町町）で開催、指導  
員は千万町・木下ふるさとづくり委  
員会ほか五名、鳥川ホタル保存会二  
名、桑原棚田の景観を守る会二名、  
鞍掛山麓千枚田保存会原田英史、  
小山舜二、行政は岡崎市、新城市各  
一名、西三河農林水産事務所建設課  
三名、豊田加茂同一名、新城設楽同  
一名、農地計画課一名の計十八名の  
出席のもとに会議が行われた。



冒頭、本年度担当の西三河農林水産事務所建設課加藤課長の挨拶に続き自己紹介（指導員は近況報告・課題を含めて）を和気あいあいと行い、まず、力を抜いた。

続いて木下・千万町地区じさんじ

集落協定総会

多面的機能發揮促進事業 第六期  
中山間地等直接支払制度四谷集落  
協定全体会議が十二月六日、連谷会

ふるさと水と土指導員とは、地域の活性化に理解と熱意を持つ取り組み、地域住民の人望が厚い方を市町村長から推薦、「ふるさと水と土保全対策委員会委員長が「ふるさと水と土指導員」として任命。全国研修を経て、地域住民活動のリーダーとして、また、それぞれの地域で実施する活動に対して、「ふるさと水と土指導員活動支援事業」により、活動費の助成が行われる。

追記：鳥川ホタル学校は旧鳥川小学校をリノベーション。大林の古田忠久（ホタル）の先生の功績が大きい。意見交換では近況報告を中心にして、閣達な議論がなされたが、やはり、中山間地における害獣被害とその対策が大きな課題であった。来年は新城設楽管内で開催予定。

よの会の荻野指導員が「二十年の活動を振り返る」と題して旧千万町小学校を千万町楽校として活用、年間十二件を超す【イベント】を中心に活動→憩いの場(地域住民+岡崎市民・都市住民) 交流から関係人口の創出へ→移住・定住】をパワー・ポイントで発表があった。知見として活気あふれる「むらづくり」の効果か? 千万町町には移住定住受け入れの空き家が無いとのこと、我が旧海老町は商店もほぼ無いに等しいし、空町街道化が薦進している(怒らない様な)。

令和七年十二月十五日  
鞍掛山麓千枚田保存会  
文責 小山舜二



りがとうございました。ぼくがおどろいたことは2つあって1つめは田んぼの枚数が1296まいあつたのに国にへらせといわれて373まいにしてから420まいにふやしたことです。2つめは420まいの田んぼを20人で管理していることです。三年梅組

十二月四日、未明から降り出した雪が千枚田をうっすら雪化粧した。昨年より廿日も早く初冠雪。寒い冬の到来か：いやだノン